

広報 やまの

No.129
2021.7.25

山野地域づくり協議会
〒932.0204 南砺市飛騨屋20
TEL 0763-82-4510



飛騨屋神明社

山野交流センター

シリーズ「山野再発見」



国道156号

山斐神社(岩屋)

「飛騨屋 今昔」

飛騨屋地区は山野地域のほぼ中央に位置し、旧福野往来（現県道井波福野線）沿いを中心に広がっています。大正から昭和中期まで、山野村の公的機関や農協があり、また以前には住民の生活必需品を商う商店や鍛冶屋、居酒屋、旅館まであり、山野地域の中心市街を形成していました。また、飛騨屋の地名は、織田信長や佐々成政らの戦国時代、井波の瑞泉寺を頼って逃れてきた八尾聞名寺衆がかくまわれたことに由来すると伝聞されており、史実に顕れるのは天正13年（1585年）です。

現在の当地区は往時の賑わいはないものの、67所帯232名（5月現在）の住民が暮らす静かな田園地区であり、平成以降は新しい住民も増えています。

なお、飛騨屋草創期からの生き証人として飛騨屋神明社境内に、南砺市天然記念物としてサイカチの木が今なお生々隆々としてこの地区を見守っています。

春季、秋季の神明社例大祭（獅子舞奉納）や用水清掃の江ざらい、6月の惣報恩講、環境保全活動の景観植物の植栽、7月下旬の納涼祭などを住民の皆さん総出で実施しています。



サイカチの木



環境保全活動

（村史引用）

岩屋村の始まりと現在



岩屋神明社の境内跡地の一本杉切り株、昭和58年3月に大往生樹齢約400年、根株廻り7メートル、樹高約25メートル

岩屋村は天正11年（1583年）11月、佐々成政に敗れた八尾聞名寺軍が、まだ庄川河川跡の荒地であった自ヶ原のこの地に一部の兵が壕穴を掘って隠れ、聞名寺ご仏像本尊を安置したのが始まりとされています。その後、御本尊は兵とともに聞名寺に帰りましたが、兵のうち兵衛、八右エ門は残り、この地に岩屋村、飛騨屋村をつくりました。兵衛は八尾の奥にある岩屋村出身であったことから、この地を天正13年（1585年）岩屋村にしたと今に伝えられています。

現在は、国道・県道が通り商工業者も増加し発展に寄与していますが、それには村民のたゆまない努力があります。

伝統事業の左義長・獅子舞、そして旧井波地域で唯一の夜高大行灯、子供達の田楽あんどんの練り歩き、村社山斐神社の護持、総報恩講等の各事業を村民あげて行っています。

最近は特に、安全で安心な暮らし、住みやすい村づくりに向けて住民一同力を合わせて努めています。（村史引用）

人口の今昔			
明治22年 3月	64戸	375人	
明治34年 6月	76戸	408人	
昭和58年10月	84戸	388人	
令和 3年 5月	130戸	384人	

「あまびえ」のぬり絵

山野児童クラブ連合会

今年の高瀬遺跡菖蒲祭りでは、カラフルに塗られた『あまびえ』がお祭りに彩を添えました。例年であれば、山野児童クラブ連合会で「あんどん」作りをしています。制作時の「三密」を避けるため中止となりました。そこで考案されたのが、今回のぬり絵企画です。

井波のイラストレーター森みちこさんによる『あまびえ』イラストに子供達が彩色、一カ所に集まらずに各ご家庭でぬり絵に取組んでもらいました。ぬり絵と一緒にお願いごとや夢を書いた色紙も集め、こちらは段ボールで作ったあまびえ人形に鱗として貼り付けました。

ぬり絵を描いてくれた子供達には参加賞として『あまびえ』イラスト入り特製クリアファイルが渡されました。コロナ騒ぎが一刻も早く収まって、また集まって楽しめるようになることを願っています。



山野保育園といちご狩り交流会

6月7日に年長組の園児12名の皆さんと保育園前のいちご畑で交流会をしました。畑の前の道路は毎日の散歩コースで、いちごがだんだん大きくなったり赤く色づいてきたりするのを楽しみにしていたそうです。この日は世話方のいもっこ倶楽部代表のいちごの育て方のお話しを聞いてから、われ先に畑に入り摘み方を教わりながら大喜びで摘み取っていました。

今年管理のせいか天候のせいか、いちごの実付きが良くなく例年よりも少なかったのですが、葉や茎に隠れているいちごを見つけるたびに歓声をあげお互いに見せ合っていました。

また、来れなかった他の組のためにその場で食べることも無く大事にかごに入れて持ち帰りました。いちごを前にして満面の笑みを浮かべる園児達を見てみると、来年こそはもつとたくさん摘み取れるように実らせなくてはと思うのでした。





「いもっこ倶楽部」:里芋栽培



地域づくり協議会の
取り組み



「花苗植え付け」



「ふれあい広場やまの」



「わいわい健康スポーツDay」



「だれでも・なんでもサロン」



令和3年度 山野地域づくり協議会 各委員会委員

総務委員会

高田 実 (委員長)
 松長 雅明 吉田 孝行
 長谷川英明 上田 彰
 田中 豊明 波能 茂光
 高山 一登 守山 佳久
 高田かおる

広報委員会

高田 実 (委員長)
 松長 雅明 吉田 孝行
 長谷川英明 上田 彰
 田中 豊明 波能 茂光
 岩崎 修 守山 佳久
 榎木 勝規 金田奈津恵
 鎌 匠志 板橋 一徳
 簀口 健世

防災・安全委員会

防災・安全委員会
 吉田 平進 (委員長)
 樋爪直二郎 岩城美智恵
 波能 治男 高田 実
 吉田 安子 木下 晴雄
 河原 光顕 西村 一郎

ボランティア委員会

高田かおる (委員長)
 板橋 敏子 菊野寿美子
 長谷川光徳 石倉 和宏
 岩元 敦子 川上 裕子
 樋爪 栄子

ケアネット委員会

磯辺 正博 (委員長)
 石黒 義尚 高田 博之
 田中 豊明 澤田 聡樹
 板橋 一徳 小林 文次
 木下 晴雄 石倉 和宏
 片田 昌宏 山本 皓
 高山 光夫 岩元 敦子
 藪長 政昭 川上 裕子
 長谷川京子 樋爪 栄子
 武田 信夫 才川かおり
 磯辺 和夫 山田 義弘
 高田 毅 村岡 佳篤
 川原 忠史 大浦 徹
 板橋 敏子
 菊野寿美子
 長谷川光徳

ふれあい委員会

高田 博之 (委員長)
 磯辺 和夫 高山 光夫
 高田 喜義 岩崎 修
 中山 貞之 高田 優子
 山本 浩 澤田 聡樹
 小林 文次 長谷川京子
 才川かおり 山田 義弘
 村岡 佳篤 大浦 徹
 高田かおる 板橋 敏子
 菊野寿美子 長谷川光徳
 磯辺 正博

活性化委員会

高木 権一 (委員長)
 中山 栄一 藪長 正昭
 佐竹 弘昭 榎木 勝規

特産委員会

松川 毅 (委員長)
 藤永 佳宏 山田 義弘
 高田 龍輔 磯辺 和夫
 西村 一郎 高田かおる

文化委員会

大浦 均 (委員長)
 岩崎 修 木下 美一
 細川 忠克 高田 喜義
 原田美知子 川合 慶夫
 樋爪 栄子 吉田 平進
 嶋 晴美 嶋 三智子
 高山 一登 野村 昌浩
 金田 秀樹 齋藤 仁美

スポーツ委員会

坂口 通 (委員長)
 荒木 修 越山 穂高
 柴田三希子 西村千佳子
 稲垣 清人 金田 秀樹
 川原 直人 斉藤 真二
 斉藤 昌弘 高山 真一
 田中 幸 高橋 宜之
 小林 憲司 吉田 茂兼
 崎田 健史 岩元 泰也
 谷川 快男 齊藤 和照
 高田 喜裕 長谷川雅弘
 村岡 裕一 鎌 匠志
 松長 寿 吉田 陽子
 長谷川秀伸 崎田 健史
 大浦 絵美

山野地域づくり協議会1年の歩み

令和2年度 事業報告

総 会

令和2年4月、発足年度総会をコロナ感染防止のため書面評決方式で実施。全議案賛成多数により原案通り可決されました。

地域活性化部

里芋で元気なまちづくり事業として里芋植付と収穫、販売
ふれあい広場「産直の店」開設（5月より）
なんと未来支援センター主催各地区取組み発表会で発表
保育園児とさつまいもの収穫体験交流会
住民主体の移動サービス「やまのりくん」実証実験 以後サービス継続
だれでも・なんでもサロン開設（11月より毎週火曜日開催）
かぶら寿司漬込み体験教室（12月）

健康福祉部

ケアネット委員会・研修（年4回）
敬老会 米寿表彰、敬老饅頭配布（米寿者宅を個別に訪問）
山野健康マージャンサロン（12月、2月開催）
ほのぼの配食サービス3回実施（ほのぼのの家中止により代替として）

文化・スポーツ交流部

わいわい健康スポーツDay（毎月第2・4土曜日開催）

防災・安全部

山野地区内の交通危険箇所アンケートと調査 3月末に市へ改善要望提出
交通安全協会山野地区支部と共催で交通安全マスコット配布（アスモ）
山野地区防災連絡網改訂調査

総 務 部

「広報やまの」年3回発行 春・冬花壇の花植え、球根植え
農村公園、慰霊碑前、保育園園庭草刈 スマホ教室 ZOOM会議研修

ボランティアグループ

サロン「いきいき健康教室」毎月第1・3金曜日開設

*その他 井波地域、南砺市地域づくり協議会連合会 生涯学習連絡協議会 事務局長情報交換会地域づくりセミナー等に参加。各部各委員会の会議が開かれています。

令和3年度 事業計画

総 会

令和3年5月14日 山野地域づくり協議会第2回
通常総会開催。原案通り可決される。

地域活性化部

住民主体の移動サービス「やまのりくん」継続
里芋で元気なまちづくり事業として里芋栽培・収穫、販売実施（いもっこ倶楽部）
ふれあい広場やまの（産直の店）
イチゴやサツマイモの収穫体験を通して山野保育園児と交流
だれでも・なんでもサロン毎週火曜日開催
かぶら寿司漬込み体験教室

健康福祉部

ケアネット委員会、視察、研修
敬老会 米寿表彰、敬老饅頭配布
山野健康マージャンサロン 年3回（7月、12月、2月開催）
ほのぼのの家開催（2月）
だれでも・なんでもサロン（地域活性化部と共催）

文化・スポーツ交流部

立山登山（中止） 盆踊り（中止） 山野地区体育祭（中止）
山野ふれあい祭り（検討中） パークゴルフ（検討中）
わいわい健康スポーツDay（毎月第2、4土曜日午後オープン）

防災・安全部

山野地区防災連絡網改訂版印刷 全世帯に配布
南砺市総合防災訓練に山野地域として参加
防災訓練

総 務 部

「広報やまの」年3回発行
戦没者慰霊祭挙行
交流センター内外の環境美化活動。花壇の整備



*本年度もコロナの感染状況、ワクチンの接種状況をみながら、各事業の実施を検討してまいります。すでに密状況を避けられないとして中止を決めた活動もございますが、感染対策をしっかりとりながら、山野の活性化に資する事業を行ってまいりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

令和2年度山野地域づくり協議会決算報告書

(単位:円)

収入の部

項 目	決算額	摘 要
繰越金	3,991,962	平成31年度繰越金
南砺市交付金、補助金	8,810,560	
富山県補助金	187,250	「話し合い促進会議」等
南砺市社会福祉協議会	510,000	
会費	1,287,000	495世帯×2600円
招魂社維持費、更生保護募金	84,154	495所帯×100円
雑収入	293,744	
会費(事業)	10,000	
合 計	15,174,670	

支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	摘 要
会議費、役員費、需用費	498,036	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化・スポーツ交流部	43,604	
地域活性化部	585,819	
健康福祉部	481,704	ケアネット活動、敬老会等
防災・安全部	143,149	防犯カメラ買い取り他
総務部	327,507	広報誌等
委託費、地域づくり助成	1,147,200	自治会、各種団体へ助成(山野分団含む)
通信費、光熱費	805,943	電話料、受信料、ガス、電気、水道
備品費、管理費	944,439	事務机、キャビネット、テーブル等
負担金、研修費	298,163	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,115,386	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	510,962	網戸設置、和室天井クロス張替え等
慶弔費	10,000	
繰越金	5,262,758	
合 計	15,174,670	

令和3年度山野地域づくり協議会予算

(単位:円)

収入の部

項 目	予算額	摘 要
繰越金	5,266,808	
南砺市交付金	8,301,560	
南砺市社会福祉協議会	470,000	
県補助金	150,000	
会費	1,287,000	495世帯×2,600円
招魂社維持費、更生保護募金	85,000	世帯×170円
雑収入	314,632	コピー代、施設維持協力費、貯金利息等
事業収入	300,000	盆踊り、ふれあい祭り等
会費(事業)	280,000	立山登山、慰霊祭等
合 計	16,455,000	

収入の部

項 目	予算額	摘 要
会議費、役員費、需用費	594,100	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化スポーツ交流部	1,220,000	盆踊り、ふれあい祭り、わいわい健康スポーツ等
地域活性化部	770,000	送迎サービス、だれでも・なんでもサロン等
健康福祉部	540,000	敬老会、ほのぼのの家、ケアネット活動等
防災・安全部	240,000	防災訓練、防災連絡網改訂、交通安全マスコット
総務部	670,000	広報誌、戦没者慰霊祭等
委託費、地域づくり助成	1,180,000	自治会、各種団体へ助成(山野分団含む)
通信費、光熱費	850,000	電話料、受信料、ガス、電気、水道
備品費、管理費	750,000	
負担金、研修費	330,000	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,114,560	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	230,000	洗剤、消臭剤、ごみ袋、電球等
慶弔費	30,000	
予備費	4,936,340	
合 計	16,455,000	

※令和2年度繰越金と令和3年度前期繰越金の差異(¥4,050)は、労働保険還付処理のため

トピックス

昨年、お亡くなりになられた岩屋地区 松岩洋市さんが今年春の叙勲を受けられました。
 ご生前のご活躍に敬意を表するとともに、受賞をお慶び申し上げます。

叙位叙勲
 富山県警察
 元警部
 松岩 洋市

従六位に叙する

日本国天皇は 松岩洋市に
 瑞寶雙光章を授与する

皇居において璽をおさせる

令和二年十一月十二日付



寄贈品のお知らせ

昨年で解散された、ボランティアグループ「やまびこグループ」さんより、山野地区での永年の活動を記念して交流センタースポーツ室の備品として、卓球台一台とソフトバレーの支柱セットをご寄贈いただきました。5月の協議会総会の場で皆さんの前で、目録と感謝状の贈呈式を行いました。

だれでも・なんでもサロンや、いろいろな健康スポーツDayなどで、楽しく使わせて貰っています。



お詫びと訂正

128号の防火ポスターコンクール表彰者の学年表示に間違いがありました。お詫びするとともに訂正をさせていただきます。

- 誤
- 澤山叶芽(小一)
 - 中山彩実(小三)
- 正
- 中山彩実(小一)
 - 澤山叶芽(小三)

編集後記

昨年から、コロナ禍により我々の生活様式、行動様式が変わり今までの当たり前が当たり前でなくなったり、今までの常識が非常識になったりと頭の中も変革が求められている気がします。今年からようやくワクワクン接種が始まり、南砺市でもこの7月末で高齢者の接種が終わりそうです。

昨年から、交流センターでの新しい交流の形が模索され、ある程度成果が見られています。さて、本号から山野の10地区を順次紹介する「ふるさと再発見」シリーズを始めました。その地区の成り立ちや、名勝、取組などを紹介していきます。このように紙面を工夫しながらお届けしますのでご意見、情報をお待ちしています。

(広報委員会)

